

講義名	グローバル競争論(2年生以上)			授業形態	
担当教員	李 東浩	開講期・曜日・時間	前期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
			ナンバリング・コード	MAN181	

### 主題と概要

本授業は双方向・多方向的な授業である。  
 本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する。  
 本授業の実施方法の詳細については以下を参照してください。  
 李東浩(2017)「学生の心を掴む生きた教育 教学双方の意識転換によるアクティブラーニング」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第2号 pp.75-104(30頁)。  
 ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細については以下を参照してください。  
 李東浩(2018)「学部ゼミ運営に関する一考察「楽しく頑張る」から「ひとつぶり」」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第3号 pp.1-19(19頁)。  
 李東浩(2022)「大学教育の進化と変革 レスポンの活用とコロナ対策のオンライン教育の実象」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第7号 pp.119-134(16頁)。  
 李東浩(2023)「学習能力の形成と進化 知の定着、深化と探索のパラダイム」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第8号 pp.107-121(15頁)。  
 真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める。  
 毎回、面白いビデオがある。

### 到達目標

- 履修生は、グローバル競争論を学ぶものにとって当然知っておくべき知識を習得できるようになる。グローバル競争論の基本理論を紹介するとともにケーススタディ(事例研究)をも取り上げるので、理論と実際をバランスよく理解できるようになる。
  - 履修生は、本講義を学ぶことによって、日常に企業に触れたり、企業に関する新聞記事を読んだり、ニュースを聞いて、グローバル競争的な側面から評価し、レポートにまとめることができるようになる。
  - 本授業で得られたグローバル競争論の理論とケースの知識・能力を身につけ、初步的なグローバル競争に関する経営計画を作成できるようにする。
- 具体的に、  
 (1)知識・能力・資格を身につける。  
 本講義を通じて、グローバルになりつつある中で、歴史的に世界のリーダー格になった・なりつつある国々及び地域的な巨大な影響力を有する国々の過去・現在・将来を地政学・経営学・経済学・社会学学といった多面的な視点から説明する。受講者の正しい世界観、歴史観、国際関係観を形成できるようにする。  
 (2)思考力・判断力・表現力を向上する。  
 論理的に基本的な概念・理論と方法を学ぶだけでなく、毎回の授業に実際の企業の事例をも取り上げ、ビデオも活用しながら、理論と実際をバランスよく理解できる。ただ単に授業内容とビデオを聞く・見るだけでなく、考えて、判断、討論、発表、考え直し、ままとめ、といった一連の仕組みで毎回、知識と能力が身につくことを実感できるようにする。

### 提出課題

- 各自事前に、以下4つを使用できるように準備しておいてください。  
 リュウカポータル、  
 アウトlookメール、  
 レスポン、  
 キャンパスクロス  
 などの使用方法等を熟知・理解し、毎回課題を提出できるように準備してください。
- 毎回レスポンスと期末試験(レスポンス課題提出式)の提出があるので、作要件等の指示に従い、 $\mu$ 初期中に提出してください。  
 ただし、単位判定対象となるのは、期末試験(オンラインレスポンス課題提出式)の1回のみである。
- それ以外の回では、レスポンス課題は自由提出になる。成績に影響を与えない。  
 ただし、学習勉強と自己成長の効果を高めるため、毎回の提出を勧める。  
 期末試験(レスポンス課題提出式)の準備段階としても、多大な価値があるので、毎回の提出を勧める。
- 毎回、発言と討論の時間はある。1分前後の発言がある場合、プラス 2点を与える。留学生も含めた履修者全員、積極的に討論・発言していきますよ。

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

- 毎回、前回課題へのフィードバックと振り返りを解説する。  
 優れた提出内容や改善してほしい内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。  
 モチベーションアップにつながるだろう。
- 毎回、全体的な状況や一部代表的な課題を本見ととして提示する。  
 双方向・多方向的な考え学習型授業の醍醐味を理解して、互いに勉強しよう。
- 毎回、自分の学習成果のチェックだけでなく、他人の意見や考え、先生のコメント・説明をも確認できる。PODCAのスパイラルアップ過程を通じて、毎回自分のやる気にもつながり、自己成長を実感できる。

### 評価の基準

- 期末試験(3日間・オンラインレスポンス課題提出式)の1回分(100点満点)+平日発言プラス 点数(最大30点)で総合的に判定する。
- 期末試験(レスポンス課題提出式)の中期である。内容・要領・期間・時間等について、リュウカポータルとキャンパスクロスの両方より提示する。  
 平日、真面目に学習していないと、期末試験を完成できない。  
 ネット等の不具合対策を考慮したうえで、余裕をもって、 $\mu$ 切まで中期中に提出してください。  
 特に $\mu$ 切の間に、ネットなど不具合の可能性もあるので、時間の余裕をもって提出してください。  
 $\mu$ 切後の提出は認めない。  
 レスポンス以外の提出は認めない。  
 土日休日等、返信が遅くなり、次の授業日にする。

### 履修にあたっての注意・助言他

- 先輩からの以下の意見を是非参考してください。
- 「5回に触れる臨時的な授業」:  
 充実な内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる!
  - 「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すくに行実する。優良企業だと思います。モチベーションがとても高く維持できていました」。  
 一方的な授業ではなく、交流の場でもある!
  - 「いま4回生がもっと早くこの授業に出会いたかった」:  
 知識そのものだけでなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる!
  - 「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」  
 単位と知識能力を両立して楽しく取ろう!

### 教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

### 参考図書

.決定版 大國の興亡 1500年から2000年までの経済の変遷と軍事競争(上下巻) .	ポール・ケネディ	笠原忠次: 決定版 (1993/12/1) 452ページ	971	4794204914
.米中戦争前後 新田大園を衝突させる歴史の法則と回遊のシナリオ.	グレム・アリソン(著)、船橋 洋一・序文(その他)、藤原 朝子(翻訳)	ダイヤモンド社 (2017/11/2) 424	2200	4478103313
.文明の衝突.	サミュエル・ハンチントン(著)、鈴木 主税(翻訳)	集英社 (1998/6/26) 560ページ	3080	4087732924

### その他

- 毎回、前回課題へのフィードバックや振り返りを解説する。優れた提出内容や改善してほしい内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。モチベーションアップにつながるだろう。
- 「授業プレゼン」: 「先生説明版」と「映像ビデオ版」等配布資料は必ず各自キャンパスクロスからアクセス・ダウンロード・印刷等を済ませて教室まで持って来て下さい。  
 厳重注意: 本授業はリュウカポータルには、最初の授業連絡通知と最後の期末試験通知の2回だけを表示するが、その以外の授業資料や授業連絡・レスポンス課題提出等の連絡を一切掲示しない。代わりにすべての資料・連絡・レスポンス課題はキャンパスクロスに連絡・公開する。  
 不明の場合、大学のメールでの相談を利用してください。
- 授業はPPT・プリント資料、映像、討論で進む。プリントには穴埋めが相当設けられ、授業中のPPTを確認しながら記入してください。

### 授業計画

- 授業内容計画概要。注: ( )内はビデオ内容。
- イントロダクション: 進め方・出席・単位等(56分中攻防の最終版)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - グローバル競争論(グローバル競争の地 北歐スウェーデン・イタリヤ)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 歴史の示唆: トウキョオデスの真(米中貿易戦争の真実、その時日本は?)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 国の競争地位(インド-南インド太平洋: 日系企業のインドへの進出)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 産業の競争地位(アフリカのタンザニア: 日系中産層と清潔水)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 企業の競争地位(シンガポール: 国が丸ごと実験場)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - イノベーション競争(人工知能AIの現状: 来日での運用拡大)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - ベトナムとアセタン(ベトナムへの日系企業進出: コロコソ役員)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 韓国と台湾(日韓関係も政治経済)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - ポルトガルとスペイン(ユネスコのスペインへの進出)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - オランダとイギリス(アサヒビールへのイギリス進出への進出)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - フランスとドイツ(欧州の両国語: フライラフ)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 日本とロシア(ロシアへの進出と現地の教育費)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - アメリカと中国(世界の覇とロシア: 海軍力の進化)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - まともなアメリカ(中国: 未来の競争)  
 予備内容: シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 復習内容: 講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)

### 授業形態(アクティブラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
○ ウ: ディスカッション、ディベート	○ エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- 企業や組織の国際運営、グローバル競争の仕組みを自ら主体的な立場から的確に理解できる。共通DP及び業界動向・問題探索・課題提案能力のDPに貢献できる。
- 身につけた知識・能力・資格等を生かして、組織メンバーと外部関係者とも協力的に働ける。自ら考えと理解のDPに貢献できる。
- グローバル競争の戦略立案と実行しながら、現地のニーズにも適応しつつ、柔軟で俊敏に大局的な視野と能力を持つことができる。グローバル分析や改善・解決のDPに貢献できる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 講義を聞くだけでなく、考えてグループワークで喋ったり、発言をする。映像を見るだけでなく、メモしたり考えたり、レスポンスに回答を出し、発言をする。
- 質問やクイズなど、積極的に考えて、発言をしてみてください。
  - 他人の発言を聞いて、自分も発言できるように授業に臨んでください。
  - 先進的なレスポンスなどのシステムを駆使し、リアルタイムで他人の課題結果をグラフなどで確認でき、授業の効率と学習意欲の向上に繋がる。

### 実務経験の有無及び活用

なし。

### 備考

学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な構えがあれば是非一度体験してみませんか。  
 通り甲斐のある授業(そうか!これこそは大学らしい授業だ!)。  
 静かでも受講できる環境(私語はとんとない!)。  
 感度でいい(前回の時間)。  
 みな一緒に互いに勉強する(自力・他力・皆の力を感じる!)。